

月例統計報告（令和3年10月）

令和3年10月29日
企画振興部

1 秋田県の人口（秋田県の人口と世帯（月報）（令和3年10月1日現在））

本県の総人口は、937,377人（男 441,164人 女 496,213人）
前月に比べ、970人（0.10%）減少
自然増減 936人の減少（出生者 350人 死亡者 1,286人）
社会増減 34人の減少（県内への転入者 786人 県外への転出者 820人）
この1年間では、14,628人（1.54%）の減少

2 秋田県経済の動き

(1) 製造業の生産動向（鉱工業生産指数月報（令和3年8月分））

秋田県鉱工業生産指数（平成27年=100）
季節調整済指数 103.1 : 前月比 2.6%下降（2か月連続で下降）
原指数 94.0 : 前年同月比 15.3%上昇
全国の鉱工業生産指数（平成27年=100）
季節調整済指数 94.6 : 前月比 3.6%下降

(2) 雇用・労働情勢（毎月勤労統計調査速報（令和3年8月分））

賃金、労働時間及び雇用の動き〔事業所規模5人以上〕 対前年比（前月比）は指数により算出
現金給与総額 251,075円 : 前月比 16.5%減、前年同月比 同水準
総実労働時間 141.2時間 : 前月比 6.2%減、前年同月比 1.0%増
常用雇用指数 99.2（平成27年=100）
: 前月比 0.1%上昇、前年同月比 1.0%上昇

(3) 物価動向（消費者物価指数（令和3年8月分））

秋田市消費者物価指数 100.2（2020年=100）
前月比 0.1%下降、前年同月比 0.2%上昇
全国の消費者物価指数 99.7（2020年=100）
前月比 0.2%下降、前年同月比 0.4%下降

(4) 景気動向（景気動向指数（令和3年8月分））

先行指数 114.2 前月を 1.9ポイント下回り、2か月ぶりに下降
一致指数 72.5 前月を 4.0ポイント下回り、3か月ぶりに下降
遅行指数 96.8 前月を 0.6ポイント上回り、3か月ぶりに上昇

3 景況ダイジェスト（県内・東北・全国）

1 秋田県の人口(「秋田県の人口と世帯(月報) (令和3年10月1日現在)」)

(1) 令和3年10月1日現在の本県の総人口は 937,377人(男 441,164人 女 496,213人)

となり、前月に比べ 970人(0.10%)の減少となった。

自然増減 936人の減少(出生者 350人 死亡者 1,286人)

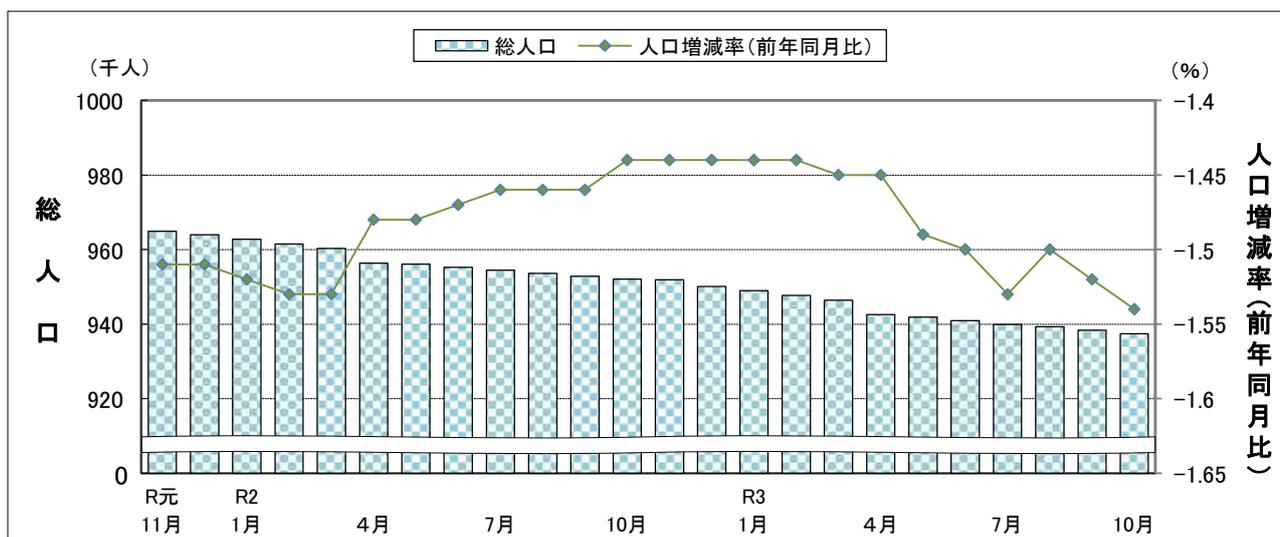
社会増減 34人の減少(県内への転入者 786人 県外への転出者 820人)

(2) この1年間では、14,628人(1.54%)の減少となった。

自然増減 11,636人の減少(出生者 4,383人 死亡者 16,019人)

社会増減 2,992人の減少(県内への転入者 11,447人 県外への転出者 14,439人)

(3) 世帯数は 390,484世帯となり、前月に比べ 43世帯の減少となった。



○自然増減と社会増減の推移

年月	自然増減			社会増減			人口増減 =自然増減 +社会増減
	出生 (人)	死亡 (人)	自然増減 (人)	転入 (人)	転出 (人)	社会増減 (人)	
R2(2020)年9月	385	1,172	-787	772	822	-50	-837
R2(2020)年10月	370	1,272	-902	773	793	-20	-922
" 11月	367	1,305	-938	588	656	-68	-1,006
" 12月	375	1,483	-1,108	621	626	-5	-1,113
R3(2021)年1月	340	1,595	-1,255	555	603	-48	-1,303
" 2月	286	1,294	-1,008	594	867	-273	-1,281
" 3月	365	1,457	-1,092	2,481	5,255	-2,774	-3,866
" 4月	401	1,332	-931	2,008	1,757	251	-680
" 5月	385	1,328	-943	744	751	-7	-950
" 6月	349	1,179	-830	669	868	-199	-1,029
" 7月	422	1,189	-767	911	732	179	-588
" 8月	373	1,299	-926	717	711	6	-920
" 9月	350	1,286	-936	786	820	-34	-970
直近1年間の累計 (R2.10~R3.9)	4,383	16,019	-11,636	11,447	14,439	-2,992	-14,628

(参考)

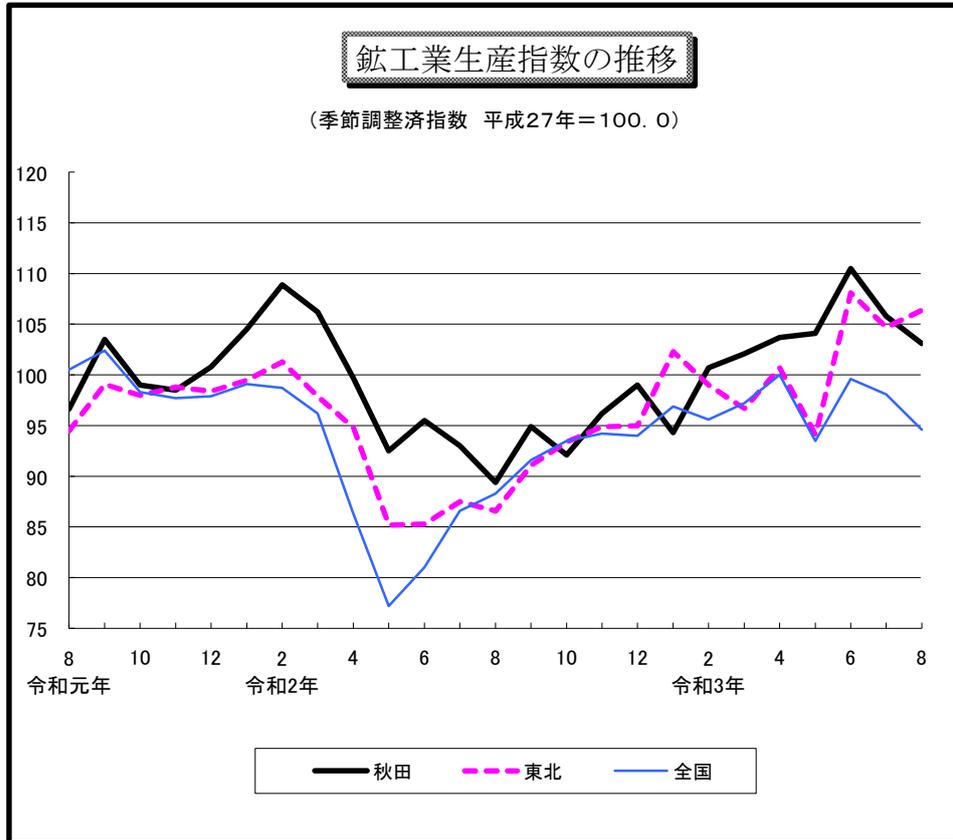
R元.10~R2.9の累計	4,508	15,520	-11,012	11,899	14,809	-2,910	-13,922
---------------	-------	--------	---------	--------	--------	--------	---------

2 秋田県経済の動き

(1) 製造業の生産動向(「秋田県鉱工業生産指数月報(令和3年8月分)」)

令和3年8月の秋田県鉱工業生産指数は、季節調整済指数が103.1(前月比2.6%減)となり、2か月連続で下降した。また、原指数は94.0となり、前年同月と比べ15.3%の上昇となった。

なお、全国の季節調整済指数は94.6となり、前月比で3.6%の下降となった。また、東北は106.4となり、前月比で1.6%の上昇となった。



○主な増減要因(季節調整済指数 平成27年=100.0)

業種名	指数値	前月比(%)	主な品目名
□上昇した主な業種			
電子部品・デバイス工業	96.7	5.1	機能部品
化学工業	128.6	14.8	医薬品原薬
パルプ・紙・紙加工品工業	75.4	16.7	製紙パルプ
□低下した主な業種			
食料品工業	234.5	▲ 14.5	冷凍調理食品、清酒
生産用機械工業	64.4	▲ 34.6	産業用ロボット
電気・情報通信機械工業	55.3	▲ 43.0	LED器具

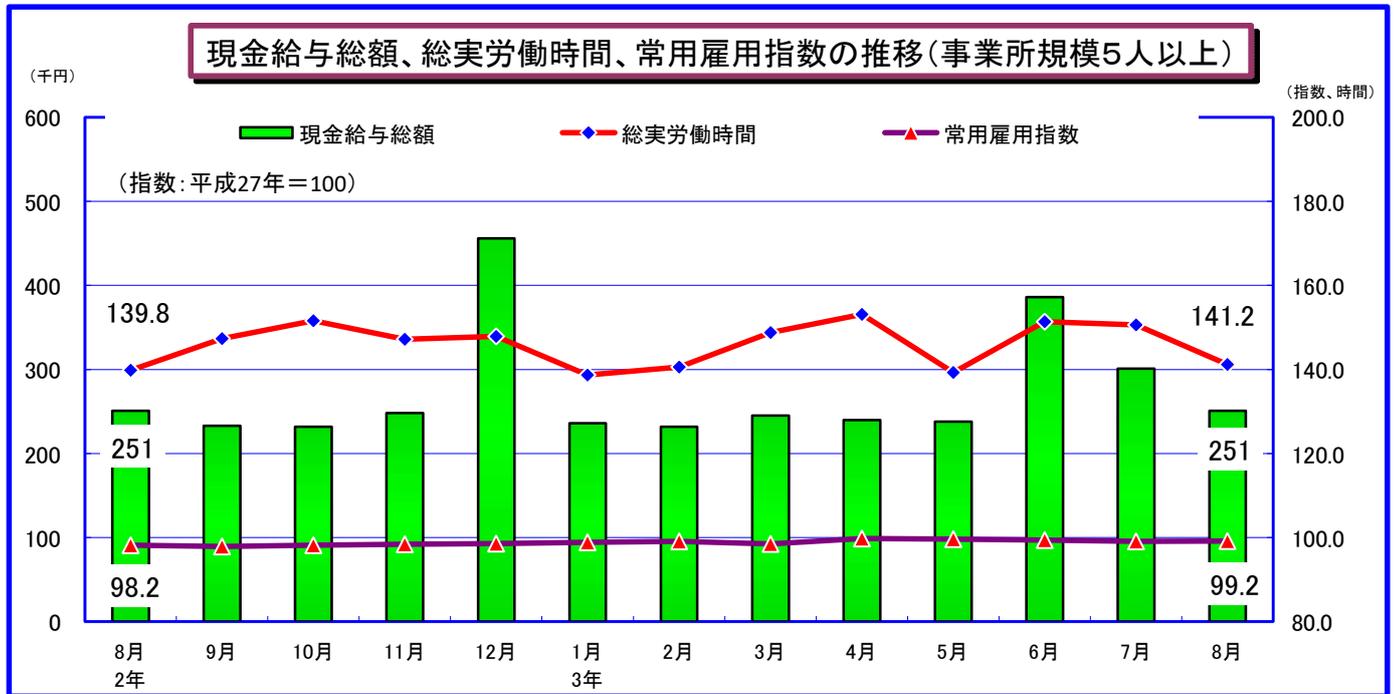
(2) 雇用・労働情勢(「毎月勤労統計調査地方調査結果速報(令和3年8月分)」)

(※賃金、労働時間及び雇用の動き〔事業所規模5人以上〕 対前年比(前月比)は指数により算出)

令和3年8月の現金給与総額は251,075円となり、前月比で16.5%の減、前年同月と同水準となった。

総実労働時間数は141.2時間となり、前月比で6.2%の減、前年同月と比べ1.0%の増となった。

常用雇用指数は99.2となり、前月比で0.1%の上昇、前年同月と比べ1.0%の上昇となった。



○産業別動向(事業所規模 5人以上)

1 現金給与総額

増加した産業(上位3つ)	金額(円)	前年比(%)
情報通信業	370,477	15.2
卸売業、小売業	211,145	9.1
製造業	255,403	5.9
減少した産業(上位3つ)	金額(円)	前年比(%)
金融業、保険業	292,848	▲ 14.2
生活関連サービス業、娯楽業	191,382	▲ 10.3
宿泊業、飲食サービス業	126,581	▲ 9.5

2 総実労働時間

増加した産業(上位3つ)	時間	前年比(%)
製造業	146.9	6.1
運輸業、郵便業	180.4	4.7
複合サービス事業	147.7	4.3
減少した産業(上位3つ)	時間	前年比(%)
情報通信業	150.3	▲ 8.0
学術研究、専門・技術サービス業	141.1	▲ 3.4
卸売業、小売業	137.7	▲ 2.1

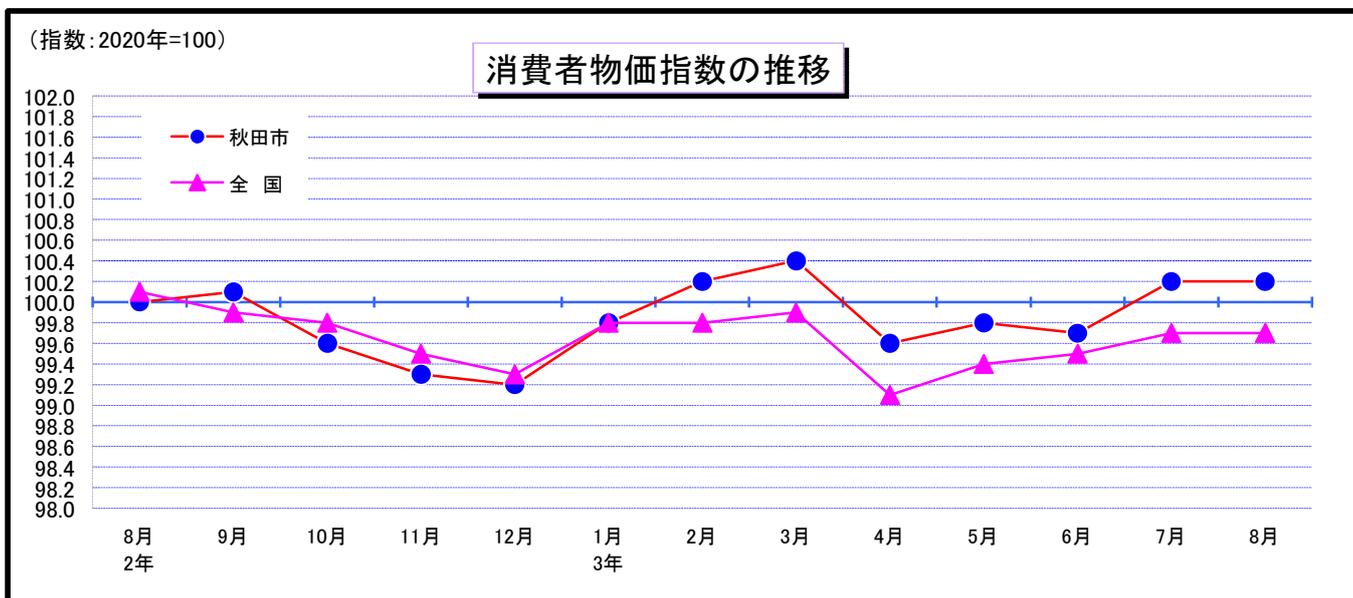
3 常用雇用指数

増加した産業(上位3つ)	指数	前年比(%)
サービス業(他に分類されないもの)	117.7	5.5
運輸業、郵便業	106.3	4.3
学術研究、専門・技術サービス業	96.7	2.8
減少した産業(上位3つ)	指数	前年比(%)
宿泊業、飲食サービス業	87.2	▲ 6.0
複合サービス事業	89.4	▲ 5.8
金融業、保険業	87.4	▲ 3.4

(3) 物価動向(「消費者物価指数(令和3年8月分)」)

令和3年8月の秋田市消費者物価指数は100.2(2020年=100)となり、前月比で0.1%の下落、前年同月比で0.2%の上昇となった。

なお、全国の消費者物価指数は99.7となり、前月比(季節調整値)で0.2%の下落、前年同月比で0.4%の下落となった。



10大費目指数の動き(2020年=100):秋田市

	食料			住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費				
	総合	生鮮食品及びエネルギーを除く総合	食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合													
当月指数	100.2	100.3	99.5	99.0	100.2	97.4	100.9	101.1	104.3	104.7	99.1	99.1	94.1	99.8	103.0	101.1
前月比(%)	-0.1	0.0	-0.1	-0.2	0.2	-0.5	0.4	0.0	0.0	-0.9	-0.6	0.0	-0.8	0.0	0.8	-0.4
前年同月比(%)	0.2	0.6	-0.3	-0.7	-0.5	-7.1	1.0	0.9	5.0	5.0	1.8	-0.8	-6.1	0.9	4.2	1.4

[上昇]

10大費目	中分類	前年同月比	寄与度
光熱・水道	他の光熱	28.8	0.40
教養娯楽	教養娯楽サービス	7.7	0.39
家具・家事用品	家庭用耐久財	11.2	0.15

[下落]

10大費目	中分類	前年同月比	寄与度
交通・通信	通信	▲27.9	▲1.38
食料	生鮮野菜	▲13.7	▲0.35
保健医療	保健医療用品・器具	▲3.5	▲0.03

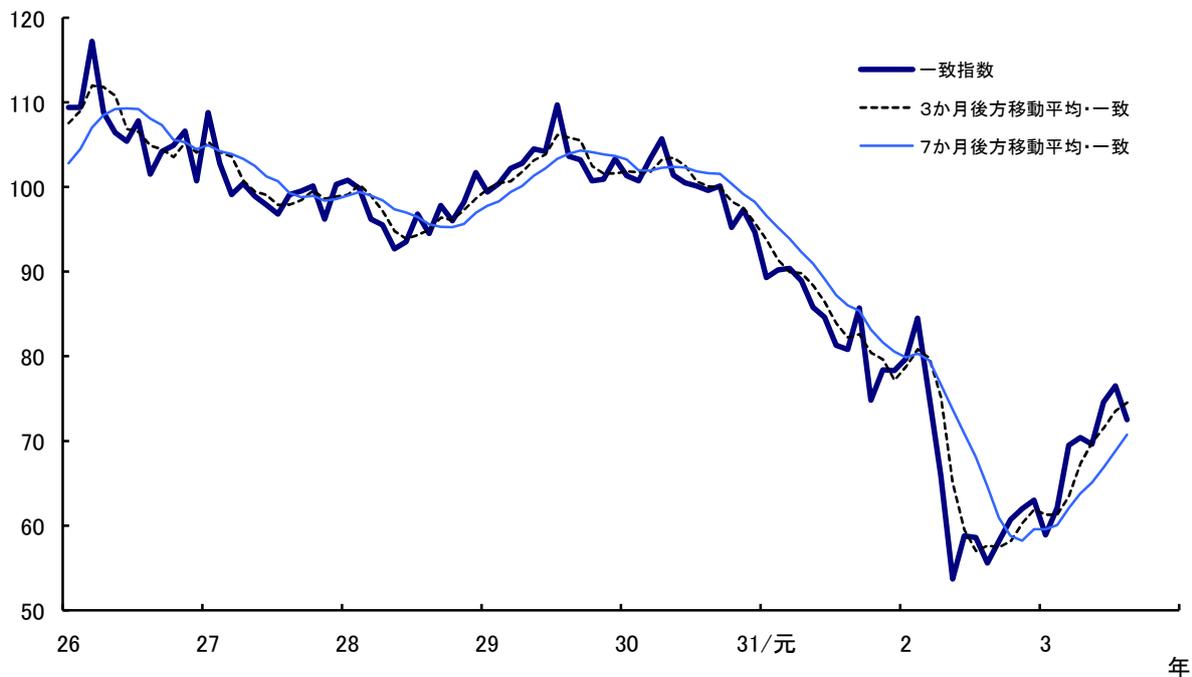
※寄与度とは、その費目が総合指数の変化率のうち何ポイント寄与したかを示すものである。

(4) 景気動向 (「秋田県景気動向指数(令和3年8月分)」)

先行指数 114.2 前月を 1.9[°] イト下回り、2か月ぶりに下降した。
 一致指数 72.5 前月を 4.0[°] イト下回り、3か月ぶりに下降した。
 遅行指数 96.8 前月を 0.6[°] イト上回り、3か月ぶりに上昇した。

一致指数のグラフ

(平成27年=100)



○一致指数採用指標の前月比較

指 標 名	前月	今月	対前月増減	寄与度
有効求人倍率(倍)	1.62	1.59	-0.03	-1.40
雇用保険受給者実人員(逆)(%)	-7.5	-8.5	-1.00	0.15
鉱工業生産指数(H27年=100)	105.8	103.1	-2.55%	-0.62
生産財生産指数(H27年=100)	95.2	99.0	3.99%	0.82
百貨店・スーパー販売額(%)	0.5	-3.9	-4.40	-0.82
新車販売台数(台)	2,370	2,601	9.75%	0.97
投資財生産指数(H27年=100)	97.1	88.7	-8.65%	-1.10
建築着工床面積(非居住用)(㎡)	25,643	10,445	-59.27%	-1.32
秋田空港利用者数(人)	29,094	28,073	-3.51%	-0.74
CI 一致指数(全体値)	76.5	72.5	-4.0	

景況ダイジェスト（令和3年10月）

対象	資料名 公表機関 対象期間等 公表日	内 容
県 内	県内金融経済概況 日本銀行秋田支店 令和3年10月15日公表	〔概況〕県内景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状態にあるものの、緩やかに持ち直している。 ・需要面をみると、個人消費は、持ち直しの動きが一服している。公共投資は、高水準ながら、増勢が鈍化している。住宅投資は、持ち直しつつある。設備投資は、製造業を中心に持ち直している。 ・生産は、緩やかに増加している。 ・雇用・所得は、持ち直している。
	県内経済動向調査結果 企業活性化・雇用対策本部 (産業政策課) 令和3年8月分 令和3年10月13日公表	〔概況〕県内経済は、個人消費は持ち直しの動きに足踏みがみられ、サービス業は新型コロナウイルス感染症の影響から、宿泊業等で低迷が続いている。製造業は全体として堅調な動きが続いている。 製 造 業：電子部品・デバイス・電子回路等で好調な動きがみられ、全体としては堅調な動きが続いている。 建 設 業：公共投資は5か月連続で前年同月を下回った。 小 売 業：全体としては堅調に推移している。 サ-ビス業：新型コロナウイルス感染症の影響から、旅館・ホテルや飲食・観光、道路旅客運送は低迷が続いている。 〔全業種〕DI値を前月と比較すると、3か月前との業況比較は8.3から▲6.3、現在の資金繰りは▲4.2から▲13.2、3か月先の業況見通しは▲9.7から▲8.3となっている。
	あきた経済 一般財団法人秋田経済研究所 令和3年8月分 令和3年10月号	〔概況〕県内経済は、一部に弱さがみられるが、全体として持ち直しの動きが続いている 機械金属の生産はやや足踏みの動きとなっているものの、電子部品は好調を維持しているほか、木材も増加傾向で推移している。建設は、公共工事が減少傾向で推移しているものの、住宅着工は前年を上回った。個人消費は全体として持ち直しの動きが足踏みしている。雇用情勢は改善の動きがみられる。
	HOKUTO経済調査レポート 北都銀行 令和3年10月号	〔県内経済概況〕依然厳しさが見られるものの、持ち直しの動きが続く県内経済 最近の県内経済は、足元は公共投資が減少傾向ながら底堅く推移しており、住宅投資は力強さに欠けるものの前年を上回っています。また、個人消費は持ち直し基調を維持していますが、自動車販売などの一部に弱い動きが見られます。この間、生産活動は電子部品や木材が高操業にあって増加傾向を強めており、雇用情勢も改善傾向にあるなど、県内経済は依然厳しさが見られるものの、持ち直しの動きが続いています。
	秋田県内の雇用情勢 秋田労働局職業安定部 令和3年8月分 令和3年10月1日公表	〔概況〕令和3年8月の有効求人倍率（季節調整値）は1.59倍。前月比0.03ポイント下回る。 （全国平均は1.14倍、前月を0.01ポイント下回る。） 有効求人数（季節調整値）は前月に比べて2.6%減少、有効求職者数（同）は0.9%減少した。 ① 新規求人数は8,309人、前年同月比18.4%（1,290人）増加。同比7か月連続で増加した。 ② 有効求人数は24,147人、前年同月比19.8%（3,992人）増加。同比7か月連続で増加した。 ③ 新規求職者数は3,206人、前年同月比0.3%（9人）増加。同比4か月ぶりに増加した。 ④ 有効求職者数は15,017人、前年同月比5.3%（833人）減少。同比2か月連続で減少した。
	秋田県企業倒産状況 (株)東京商工リサーチ秋田支店 令和3年9月度 令和3年10月4日公表	(負債額1,000万円以上の企業倒産) 倒産件数 2件 負債総額 2億8,000万円 前年同月比 +0.00% +551.16% 前年同月 2件 4,300万円 倒産件数は過去2番目に少なく、負債総額は7番目に少ない低水準
	情報収集結果 秋田県中小企業団体中央会 令和3年9月分 令和3年10月15日公表	[業界判断指数]単位：%P 業界全体 製造業 非製造業 売上高 収益状況 8月分DI -46.7 -37.5 -52.8 -41.7 -48.3 9月分DI -39.7 -34.8 -42.8 -27.6 -43.1 比較増減 7.0 2.7 10.0 14.1 5.2
秋田県内の公共工事動向 東日本建設業保証株式会社 秋田支店 令和3年9月分 令和3年10月15日公表	対前年度増減率 件数14.9%減少、請負金額43.7%減少 (金額単位：百万円) 区分 令和2年9月 令和3年9月 対前年度増減率(%) 発注者 件数 請負金額 件数 請負金額 件数 請負金額 国 39 4,373 19 1,026 -51.3 -76.5 独立行政法人等 3 387 2 -317 -33.3 -181.9 県 225 9,952 204 8,609 -9.3 -13.5 市町村 114 5,887 98 2,149 -14.0 -63.5 地方公社 0 0 0 0 - - その他※ 1 5 2 128 100.0 2,332.7 合 計 382 20,605 325 11,595 -14.9 -43.7 ※「その他」発注者：国、独立行政法人等、地方公共団体、地方公社を除く国土交通大臣が指定する指定公共工事発注者	

県内	県内経済情勢報告 財務省東北財務局 秋田財務事務所 令和3年7月分 令和3年8月3日公表	項目	内容								
		総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直しつつある								
		個人消費	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある								
		生産活動	持ち直している								
		雇用情勢	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるなか、一進一退の状況にある								
		設備投資	3年度は増加見込み								
		企業収益	3年度は増益見込み								
		企業の景況感	「上昇」超に転じている								
		住宅建設	前年を上回っている								
	公共事業	前年度を下回っている									
秋田県内全国企業短期経済観測調査結果 日本銀行秋田支店 令和3年9月調査 令和3年10月1日公表	[業況判断D I]		3年		3年		3年				
	単位：%ポイント		6月	9月	変化幅	12月(予測)	変化幅				
	全産業		-9	-10	-1	-8	2				
	製造業		0	-5	-5	6	11				
非製造業		-12	-11	1	-16	-5					
東北	管内の経済動向 東北経済産業局 令和3年8月分 令和3年10月14日公表	全体の動向：持ち直しの動きに足踏みがみられる 鉱工業生産：一進一退となっている 個人消費：持ち直しの動きに足踏みがみられる 住宅着工：持ち直しの動きがみられる 公共投資：減少している 設備投資：増加している 雇用：一部に持ち直しの動きがみられる 企業倒産：落ち着いた動きとなっている									
		項目	内容								
		総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しつつある								
		個人消費	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している								
		生産活動	持ち直している								
		雇用情勢	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある								
		設備投資	3年度は増加見込み								
		企業収益	3年度は増益見込み								
		企業の景況感	「下降」超幅が縮小								
	住宅建設	前年並みとなっている									
公共事業	前年度を下回っている										
全国	月例経済報告 内閣府 令和3年10月 令和3年10月15日公表	景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、そのテンポが弱まっている。 ・個人消費は、弱い動きとなっている。 ・設備投資は、持ち直している。 ・住宅建設は、このところ持ち直しの動きがみられる。 ・公共投資は、高水準にあるものの、このところ弱含んでいる。 ・輸出は、増勢が鈍化している。 ・輸入は、このところ持ち直しの動きに足踏みがみられる。 ・貿易・サービス収支は、赤字となっている。 ・生産は、このところ一部に弱さがみられるものの、持ち直している。 ・企業収益は、感染症の影響により、非製造業の一部に弱さが残るものの、持ち直している。 ・企業の業況判断は、一部に厳しさは残るものの、持ち直しの動きがみられる。 ・倒産件数は、減少している。 ・雇用情勢は、感染症の影響により、弱い動きとなっているなかで、求人等の動きに底堅さもみられる。 ・国内企業物価は、上昇している。 ・消費者物価は、このところ底堅さがみられる。 先行きについては、感染対策を徹底し、ワクチン接種を推進するなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、サプライチェーンを通じた影響による下振れリスクに十分注意する必要がある。また、国内外の感染症の動向や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。									
		企業短期経済観測調査結果 日本銀行調査統計局 令和3年9月調査分 令和3年10月1日公表		[業況判断D I]		〈大企業〉		〈中小企業〉		全規模合計	
		単位：%ポイント		製造業		非製造業		製造業		非製造業	
		3年 / 6月		14		1		-7		-9	
		3年 / 9月		18		2		-3		-10	
		変化幅		4		1		4		-1	
		全産業		-3		-2		1			